

平成30年度まちかどミーティング会議録

開催日 平成30年10月30日（火）

地 区 豊川町地区

会 場 豊川コミュニティセンター（集会室）

<町内会からの要望>

○司会 それでは、意見交換の時間に移らせていただきます。町内会からの要望に関する意見交換につきましては、これから30分間とし、残りの時間を当日参加者との市政に関する意見交換の時間とさせていただきます。あらかじめお配りをしておりま

す町内会からの要望事項に従って進めてまいります。初めに、各町内会ごとにそれぞれの要望内容に関して改めて趣旨説明や補足が必要な場合は説明をお願いいたします。説明が終了した後、質疑応答を行いますので、進行に御協力をお願いいたします。また、発言の際にはマイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前を述べてから要点を簡潔に発言をお願いいたします。

それでは、有珠の沢町内会さんから提出をいただきました要望は1番となりますが、これについて有珠の沢町内会さんから趣旨説明や補足等はございますでしょうか。よろしいですか。はい。

それでは、質疑に入りたいと思います。この要望に対する市の回答について質問がある場合は、挙手の上、マイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前を述べてから簡潔に発言をお願いいたします。どなたか御質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

町内会からの要望事項に関する御質問のある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、町内会からの要望につきましては、これで終了させていただきます。

<当日参加者との意見交換>

○司会 次に、当日参加者との市政に関する意見交換の時間に移りたいと思います。

多くの方に御発言いただけるよう、発言は簡潔にお一人1件ずつお願いをいたします。残りの時間に余裕がございましたら改めてお伺いをいたしますので、よろしくをお願いいたします。なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、本日、市の担当者が多数来ておりますので、このまちかどミーティング終了後に直接お話をさせていただきたいと思います。

本日のまちかどミーティングは、豊川町内会、桜木町町内会、しらかば東町内会、日新草笛町内会、有珠の沢町内会にお住まいの方を優先させていただきますので、御了承ください。

それでは、市政に関して、日頃、お気づきの点や御意見のある方は挙手をお願いいたします。どなたか御意見、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

はい、どうぞ。

◆市民 有珠の沢町内会から来ました■■■■といます。

苫小牧川に住んでいる白鳥のことで、これで4回目の話をさせていただきたいのですが、話よりも写真を見てもらうのが一番手取り早くて、ちょっと何部か写真を作ってきていますので、皆さんに見てもらいたいと思っています。よろしいでしょうか。いいですか。

○司会 はい。

◆市民 少し今までの経過を話させていただきたいと思います。

27年のミーティングのときからお話をさせてもらっているのですが、1回目ですね、つり看板を増やしてもらいたいとお願いしました。おかげさまで少しずつ看板は増えているのですよね。釣り人も節度のある人には減っていると思っています。ところが、この二、三年はちょっとこういう状態にあるので気をつけてくださいって言いましても、ここは釣り禁止でないのだから何も言われる必要はないって。白鳥が苦しもうと死のうと自分には関係ないのだということ言う人が、ちょっとそういう感じの人が多くなってきたような気がしていますよね。それともう一人の方は、俺の置いていった針を飲んだ証拠はどこにあると言うのですよね。証拠はないのなら、人の置いていったものを俺のせいにされても困るというような言い方なのですよね。そういう物の言い方は最初の頃には全くなかったことなのですよね。自然に関わる者は、やっぱり自然を汚したり、そこに暮らしているものを傷つけたりする人には自然に関わってほしくないという釣り人がほとんどだったのです。この二、三年はちょっと言葉が違って、それでも看板を付けてもらったことで、釣り人は本当に減ったと思っています、ありがたいことに。それが1回目でしたね。

2回目は、環状線の環状橋の上、電線に渡り鳥や苫小牧川で生まれた子供たちに電線があることを知らせる目印が欲しいということもお願いしました。早速、これも目印になる電線に黄色い枠のようなものを付けてもらっています。それでも、あるのですね。もう、苫小牧川で生まれたばかりの鳥、苫小牧川の親は飛ぶことを教えてやれないものですから、結局、子供たちが兄弟で競い合って飛び出すのですよね。そうすると、松風町の端から環状線に向かって飛ぶことが多いのですが、見ているとすごい土手にぶつかりそうな感じで、そのときに力余って橋の上の電線に引っかかるって、そんな感じなのですよね。そんな感じで亡くなっていくのもいますし、これもまた親は必死に声を出して、危ない危ないって叫びながら子供たちの後をつけていますけれども、そういう状態ですね。

今回は、白鳥たちがどういう生活をしてこの苫小牧川にいるのか、話よりも写真を見てもらった方がこれから先、ずっとこの写真を見てもらいながら、皆さんにお

話ししているのですよね、こういう状態なのですよって。最近聞くのは、苫小牧はどのような考えなのだろうねというクエスチョンマークがちょっと多いのですよね、どういうふうにするのだろうねって。苫小牧市としてどういう考え方があるのだろうねっていうことを、そうだよって、どういうことなるのでしょうかねという話で話しています。今までの経過はこんなようなところでした。いいですか。

○司会 御質問の部分を簡潔にお願いしたいのですけれども、どのような御質問になりますでしょうか。

◆市民 してもらいたいことは、川の掃除が一番なのです。釣り針がたくさん入っていきまして、毎年春に新芽が吹き出しますよね。その新芽に引っかかった針が、置かれた針と一緒に上がってくるようなのです。もちろん軟らかい新芽は白鳥たちも食べたいので一斉に食べるのですけれども、一斉に針を飲み出します。そういう状態で、放っておいても。私最初のころ分からなくて、お前たちはこうやって生きているのだねって、頑張って生きるのだよって声かけたものはみんな餓死してしまいました。そんなので、水草は融けないので、針が引っかかっている下には落ちないのですよね。私は今パンか麦をやっているのですけれども、パンは水の中にやったときに、ぱしゃぱしゃやっていて溶けるから胃袋に入って命がつながるといふような感じですね。で、川の掃除、それです。

○司会 はい、分かりました。今、回答をいたしますので。市の回答をお願いいたします。

◎都市建設部長 都市建設部長をしております栗野と申します。

今、27年から白鳥の話があったかと思っておりますけれども、いろいろ御意見をいただきまして、市としてできること、それから、この川の管理者であります北海道さんに対してできることということがそれぞれあるかと思っておりますので、そういった中でも市として対応をさせていただいてきたところでございます。

川の掃除をしていただきたいということで、毎年そういった話もありまして、我々の方からも北海道の方にそういった川の清掃をしていただきたいというような話もさせていただいてはいるのですけれども、なかなかタイミングとか費用の面とかがあってあるのかなというふうには思うのですけれども、その点につきましては、我々の方から再度お願いをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいなというふうに思います。

○司会 他に御質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。どうぞ。

◆市民 初めて参加しました豊川町3丁目の■■■■と申します。時間がちょっとあるので、3点、手短かに聞きたいと思っております。

1つは、市長もおっしゃったように税収の件ですけれども、苫小牧市のふるさと納税の関係がどうなっているか、始まってからの推移を教えてください。あと、全道的に見てこの規模の市、17万都市として多いのか少ないのか、集まってきているのか集まってきていないのか、それに対してどういう努力をしているのか、その

点1点お伺いしたい。

あと2点目は、ごみの問題なのですけれども、ごみ処理場に沼ノ端のセンターに行くと、必ず自宅のごみですかって聞かれるのですよね。だけれども、障害者だとか目の不自由な人だとか年寄りだとか、一緒に車に乗って行けない方もいると思うのですよね。そして、いや、隣の人から頼まれたと言ったら、今回は見逃すけれども、2回目来たときにはごみは捨てられませんよって言われるのですよね。その辺の配慮というか、例えば極端に言えば委任状を書いてもらうとか、そういうふうに向こうで断られるのですよね。その現状についてどう思うかということが2点目。

3点目は、このコミセンの使用時間帯のことなのですけれども、きょうは6時半から8時半までですよね。ところが、区割りが5時から7時、7時から9時という夜の区割りなのですよね。だから、6時半から借りようと思えば、5時から借りなくちゃならないのですよね。つまり2コマ分借りないと6時半からは開始できない。一般的にサークルなんかやる場合には、やっぱり6時半からというのがね。だからもっと融通性を、確かに指定管理だけれども、融通性のある時間割りができないのかという、その3点をちょっとお願いします。

○司会 それでは、市の回答をお願いいたします。

◎総合政策部長 総合政策部長の福原と申します。

私の方から、ふるさと納税の現状についてお答えをさせていただきます。大変申し訳ございません、全道の状況という部分についてはちょっと資料を持ち合わせていないのでお答えができないのですけれども、根室とか、聞いているところでは海産物とかそういったものが地場であるというところは多いというふうには承知をしているところでございます。

そこで、苫小牧市の状況でございますけれども、平成29年度でいきますと、苫小牧に対して納税をしてくださった金額が約1億4,700万でございました、29年度。あと一方で、苫小牧市民の方がよそに納税をされるという方もいらっしゃいますので、その部分で納税をされた方が5,600万円ぐらいちょっとそういった方がいらっしゃった。あと返礼品ってございますよね。返礼品は今総務省の方で30%以内と。苫小牧市はそのルールをしっかり守っています。そこにかかった経費というものもございまして、それは5,800万円ぐらいかかりました、29年度。トータル差し引きしますと、苫小牧市の場合、寄附をいただいたもの、それとよそに納税された方、それと返戻品のかかった経費を差し引きしますと3,200万円ぐらいのプラスでございました、苫小牧市としましては。状況は以上でございます。

◎施設管理課長 環境衛生部施設管理課の長野と申します。沼ノ端クリーンセンターの管理運営等を担当しております。

沼ノ端クリーンセンターへのごみの搬入についてでございます。基本的に個人か

ら排出されるごみにつきましては、ごみステーションに出していただくか、また、直接沼ノ端クリーンセンターに持ち込んでいただくという方法がございます。それと、人が排出したごみを搬入、収集して運ぶためには、市の許可した収集運搬の許可というものがなくなってまいります。ですので、そういった業者さんをお願いしていただくか、先ほどお話ございました自分で持っていくことがなかなか難しいといった方の場合、基本的にはどなたかと一緒に来ていただくことになっているのですけれども、今後、その御本人から出たものかどうかということを確認する方法につきまして、私たちの方でも検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

◎市長 ふれあい収集の話は、どうなのか。

◎ゼロごみ推進課長 環境衛生部ゼロごみ推進課、小泉と申します。よろしく願いいたします。町内会の皆様には、日頃からごみの減量とリサイクルの推進、そしてまちの環境美化等、御協力いただきましてありがとうございます。

今、市長からありましたふれあい収集ですけれども、ちょっと要件がございますけれども、高齢者の方で介護保険の認定を受けている方、それから、身体障害者等の障害者の方で手帳の交付を受けていて、身体であれば1級とか、療育であればA判定とか、精神であれば1級ですね。そういったような要件等がありますけれども、基本的にはおひとり暮らしの方で、通常のごみの分別ですとか排出が困難な方につきましては、そういった制度もございますので、そういった御利用につきましてはゼロごみ推進課の方に御連絡いただければ、担当の方で御家庭の方までお邪魔しまして、要件等について該当するかということを確認させていただきたいと思しますので、御連絡の方をお願いしたいと思います。以上です。

◆市民 すみません、何課かもう一回、そこをはっきり。

◎ゼロごみ推進課長 環境衛生部のゼロごみ推進課と申します。よろしく願いいたします。

◆市民 ありがとうございます。

◎市民生活部長 市民生活部長の片原と申します。

コミュニティセンターの使用に関してのお尋ねでございますので、私の方からお答えさせていただきますが、まず、苫小牧にございますコミセンの使用料につきましては、使用時間帯が午前の部、午後の部、夜間の部、それから丸1日と、4区分で大体4時間ぐらいの幅で利用時間を設定しております。細かく申し上げますと、午前の部は9時から13時まで、それから午後の部が13時から17時まで、夜間が17時から21時までということで、そういった区分で設定をしております、この区分によりまして条例で使用料をいただいているというような状況でございます。

また、先ほどお話の中にごございました2時間単位という使用の部分なのですけれ

ども、これは条例の中に、夜間の部で申し上げますと、この2分の1の時間帯については、その2分の1に応じた時間帯で料金をいただくというような設定になっておまして、さらにこの時間帯の区分によらない場合は、規則で別に定めるということになっておまして、この部分について、先ほどお話がありましたような、例えば6時から使いたい場合、これは夜間の2時間区分の1時間前に使うというようなケースになるかと思えますけれども、これはケース・バイ・ケースになるのではないかなというふうに思えますけれども。ちょっとその辺、コミセンの指定管理者の方にどういった設定されているかという部分を含めまして、ちょっと確認しまして、後ほどお返事させていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。はい。

◆市民 今の問題からですけれども、のぞみコミセンとここは同じ時間帯ですよ、11時から19時、19時から21時と。だけれども、アイビーは違いますよね。午前、午後、夜間というふうに、その区分が違いますよね。だから、先ほど言ったように、6時半から2時間、8時半まで使いたいと言ってもできないわけですよ。5時からか7時からか。だけれども常識で言って、7時から9時ってかなりもうきついですよ、高齢になると。だから、今日だって6時半からの設定なわけですよ。5時から設定してないわけですよ。だから、その辺のもっと融通性が利いてほしいというか、だから6時から8時まで使いたい、6時半から8時半まで使いたいというような、もっと柔軟に考えてくれないかという質問です。

◎市民生活部長 ただ今のお話も踏まえまして、指定管理者の方とちょっと確認、どういった時間帯はどのような料金になるかということも含めまして、

◆市民 料金でない。

◎市民生活部長 時間帯ですね。

◆市民 時間帯のこと。

◎市民生活部長 そちら辺の運用の仕方も含めて、ちょっと確認をしてお返事させていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○司会 他に質問ある方いらっしゃいますか。

◆市民 3丁目の[]でございます。去年のこの場でも質問したのですが、お願いしたのですが、その回答をいただいておりますので、再度申し上げます。

雪が10センチ以上降った場合に、歩道に対して市の方で委託した業者が、タイヤショベルですか、それが真ん中を、真面目に真ん中ずっと行くのですよね。それをバス停のところへ行ったらときにはちょっと、寄り道までは行きませんがね、曲がってまた真っすぐ行ってほしいと。そうしませんと、バスの乗り降りに危険ですし、私が実際今までやっていたのですけれども、老人です。ですから、それをタイヤショベルが来るときに、そのようにちょっと寄り道していただけないかということ去年はお願いしました。

そして、これは民報の29日の新聞なのですけれども、業者とのお話し合いで、バス停についても除雪を行うが、って、その詳しいことが今日、今、お話があると思ったのですけれども、ないものですから質問いたします。よろしくお願いいたします。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎道路維持課長 道路維持課の小西と申します。いつも道路の管理の方をやっていますけれども、皆さんから道路の損傷なりいろいろあったときには御連絡いただきまして、対応させていただいていまして、誠にありがとうございます。この場をかりて、まずふだんのことにつきましてお礼を申し上げたいと思います。

それで、今■■■■■さんのお話で、去年の質問で歩道の方に少しでも寄ってほしいということでお話を受けて、我々も除雪会議といいまして、ブロックで除雪する業者の方をお願いして、少しでも寄せてほしいということでやっております。去年も少しやったのですけれども、どうしても停留所によって物があつたりなかつたりするものですから、100%寄れるかということは別としても、少しでも寄るようにということで、今まで真っすぐ行ったやつを停留所の近くはアールをかけるような形で少しでもやるようにということで進めさせていただいております。もし、それでもまだ足りないというのであれば、我々としても、もう少しできるかできないか業者と話しさせていただいて、その状況に合わせて対応したいと思います。

それともう一つ、■■■■■さんの方から去年言われたのは、車道側の方もできれば少しでもバスの止まる方を雪のないようにしてほしいということで、それも業者と話しまして、少しでもバスが寄せれるようにということで、雪につきましては前の方に押すだとか、少しでもバス停に影響しないようにということで除雪の方をやらさせていただきました。ただ、雪というのは、正直言いますと自然の現象なものですから、今年どれだけ降るかまたちょっと分からない状態なので、その状況によってはまた多少御不便かけるかもしれないのですけれども、少しでもバス停の方に影響のないような形で除雪をするようにということでこれからも進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それともう一つ、全市内的ということで、国道なりバイパスなりというお話もありましたので、実は去年の12月27日に国と北海道の方に、停留所の近くの方、少しでも乗り降りしやすいように少しでも除雪してほしいという要望もさせていただいております。今後も少しでもバスが乗りやすいような形で対応したいと思いますので。もし何かございましたら、除雪に関しては糸井の道路事務所というところでやっております。そちらの方、電話番号73-5000番ということでなっておりますので、もし何かございましたら、そちらの方にお電話していただいて、現地確認させていただいて、少しでもバスの乗り入れしやすいような形で対応したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 100%言えないのでしょうかけれども、それでは、きつとさせていただけるということを見守っていきたいと思います。よろしくお願いします。

○司会 他に御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

◆市民 豊川町の■■■■と申します。今コミセンのことが出ましたので、ちょっとそれと関係して、指定管理のことで質問します。

先ほど市の方では、午前、午後、夜間というふうに言っていて、豊川コミセンとかではさっき言った2時間区分ということで、きつと指定管理に任せた後の、これ市の建物なのだけれども、チェックというか、連絡、指導と言っているのでしょうか、助言とか、それが何かちょっと足りないような気がしたのですね。例えば沼ノ端のコミセンですかね、神社の前のね。あそこに前行きましたら中学生とかがたくさん集まって、折り紙をしたり勉強したりという、広いせいもあるのですけれども、すごい何か地域のたまり場、いい意味でのたまり場になっているのですが、ここはなかなかもうちょっと。このごろは中学生が新聞の前の低いテーブルで勉強しているのですよね、たまに見かけるのです。確かに児童館はあるのだけれども、バドミントンで来た子だとか、何か子供たちも健全に集えたらいいのかなとかいろいろなことを思うのですけれども、指定管理だと誰に言えば。市のおじさんに言ったのですよ。前、市の行事が、紙フェスティバルが中止になりましたよね、地震で。それでコミセンの窓口の方に、紙フェスティバル中止だといううわさで聞いたのですけれども、ここにポスター張ってあるので何か連絡はないのですかって、中止だったらポスターの横に中止って張ってほしいのですよねって言ったら、分からないですって言われたのですよね。でも、その後何かどこかに聞いたらしくって、次の日に行ったら、ちょっとマジックで中止って書いてあったのです。いろんな意味で市の出先機関でもあるし、私たちのよりどころなので、指定管理業者との連絡調整、そこら辺お願いしたいなと思いました。そこら辺はどういうふうにやっていますのかというのが質問の趣旨です。すみません、長くて。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 市民生活部長の片原と申します。

まず、コミセンの運営に関する市の監督といいますか指導といいますか、そういうようなお話から申し上げますと、指定管理の場合は、必ず何年かに1回、5年に1回更新になるのですけれども、その場合にいろいろな評価も含めて、指定管理者自身のモニタリングもございまして、我々もそういう評価を行って、次回更新するかどうかということも含めて判断するのですけれども、今のお話のように、例えば市民からのお話につきましては、いただいてすぐ指定管理者の方にはこういったお話いただいているということをお伝えすることは随時やっております。その指定管理の期間を更新する場合には、一定の期間をもって判断するものですから、なかな

か毎年毎年替えるとかそういうことはできないものですから、今いただいたようなお話を含めて、どんどん御意見お寄せいただくと同時に、指定管理者自身もそれぞれのコミセンの中で地域活動というのはやっているのですけれども、それに対する御意見だとか、そういったものを伺う、例えば御意見箱だとかそういうものも設けてはおりますので、是非、そういった御意見は遠慮なさらしないでどんどん私どもに言っていただくのも結構ですし、コミセンに直接お話ししていただくのも結構ですし、そういった話を是非、我々も伺って、よりよい運営をしていただくように努めてまいりたいと思いますので、今後もひとつ御意見等を寄せていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。はい。

他に質問、御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

◆市民 しらかば東町内会の■■■■といます。

9月7日の日、翌日ですけれども、避難所で、私、午前中だと思う、民生委員の方から相談されて、■■■■、携帯の充電できる場所ありませんかと言われたのですよ。それで、私も前の日から避難所には行っていましたので、様子は分かっていたので、私は直接行かなかったのですけれども、その民生委員の方に、避難所へ行くと発電機があるので、それを回すとコンセントさえあれば充電できるよ、それ聞いてみなさいという話をしたら、担当者の方はできないと。それをやると收拾がつかなくなるという話で、私はその民生委員の方から聞いたのですね。ただ、それはそれでなのだけれども、避難所、よく寄り添ってという話はあるけれども、そして、その前の日にも役所の方は電気が来ていて、それでそういう開放をしていると。だから、工夫によっては発電機を回せば、そういう地域の人たちにそういう提供はできたかなという気がする。それを中で話し合ってもらいたいなど。

それともう一つ、同じことなのですけれども、うちの町内会で10月20日に防災サロンというのをやるときに、期限の迫ったアルファ米を無償提供してもらっているんですよ。それで、地震が過ぎてから担当の防災部長が役所の方に、アルファ米ありませんかと。ありませんと。それで、担当者が言えば間違いなくないから、自分たちで用意してくださいみたいな話になったのだけれども、私、それを聞いて担当者に電話したのですよね。それでいいのですかと。やっぱり庁内で話し合ってくれと。要するに、そういう自主防災組織とかということで、町内会の方もいろんな面で協力しているのだから。買えば、そんな高いものでないで町内会で用意することはできるのだけれども、気持ちの問題としておさまらなかったもので、それで中であらうと検討してくれという話をしたら、中で、登山家の野口さんが提供した個々のアルファ米があって、それは賞味期限がある程度迫ったやつなので、それは提供できますという話だった。それで、それをいただいて10月20日にそれを使わせてもらっていました。だから、そこもそうなのですけれども、要するに担当者

レベルでは、もうそこないから、予算がないからそれはできませんという、そういうものでいいのか。その温かみというか、市長はよく協働、協働と言うときに、今その2つのところに共通した面があると思うので、そこら辺をやっぱり今回の震災の後の避難所とかということ、町内会でもいろいろ体験しているので、その辺、中でも十分話していろんな面を掘り起こしてやってもらえばいいかなという気がしたので、ちょっとその2つお願いします。

◎危機管理室長 危機管理室長の梶川と申します。いつもお世話になっております。

まず、アルファ米の関係なのですが、ちょっと間違っただ説明したのかもしれないのですけれども、予算がないというよりは、消費してしまって、その時点では残りが少なかったというのが1つ。その当時、むかわ、安平、厚真の3町の方にも支援のために予備をしておかなきゃならないということで、今、出せないというようなお話ししたかと思うのです。改めて残っているものを調査しましたら、民間の支援したアルファ米等がございましたので、そちらを提供させていただくということで今回は対処させていただきました。ですから、時期によってはお断りした町内会さんもらっしゃいますので、ちょっとその辺、是非、御理解をいただきたいと思えます。

あと、充電器の関係なのですが、酸素ボンベを抱えて治療されて居宅でいらっしゃる方何人かいらっしゃいまして、その方を優先的に電気を使いたいということ、医療用ですね。ですから、体の悪い方を優先させていただいて、携帯の充電だと1人15分以上かかってしまうということ、役所に殺到した状況を考えますと、いたずらに充電器、今回の件でありますけれども、優先的に携帯にというのはちょっと遠慮させていただいたのは現状でございます。ただ、次回に向けまして、御提言いただきました充電器の整備については考えていきたいと思っております。以上でございます。

◆市民 そのアルファ米について、だからそのときの町内会に対する対応がないから駄目ですよという話で、だから、それだけの話で、後からいろいろ聞いてみたらそういうものがあつたので提供しますよという話でね。そこをお互いにというか、自主防災組織ということで、こちらはこちらで進んでやっているときに、担当部長がそう言ったときに、がっかりして来るわけですよ。その辺をやっぱり大事にしてもらいたいなというのがあるのですね。

それから、充電器の話は、そのときにそう言われたのでということなので、中でいろいろ、今回みたいなことは初めての経験、町内会としても初めてのなので、そういうものを幅広くいろいろ考えてもらえばいいのかなという気がしましたので、そういうことです。

◎危機管理室長 アルファ米の件については、担当の方の説明が悪かったと思います。本当に御迷惑をかけました。申し訳ございません。次回につきましても、今御指摘い

ただいた内容は検討させていただきたいと思っております。

充電器につきましても、こちらの方でそろえるのももちろんなのですが、いろんな出前講座ですとか、市民の皆様のお話の中で、充電器、それぞれ個々人の皆さんが、停電ということは自然災害のたびに起こる可能性があります。御経験していただいたとおり、電気が駄目になりますと。実際いろんなものができなくなりますので、便利なものでは現在ホームセンター等で充電器、確か手動でハンドルを回すと充電ができて、それでライトも使えます。

◆市民 いや、そういう問題でないのですよ。市民要望がこういうふうにあったときにどう協力できるかという話です。

◎危機管理室長 すみません。

◎副市長 すみません、副市長の佐藤でございます。

アルファ米の方から改めてお話をさせていただきますけれども、確かにそのときに全部の在庫をチェックしないまま答えたのは、全くこれミスです。確かに9月の7日といったら翌日ですので、その段階で3町って先ほど、もちろんそれも意識はしていたのですが、地元の方で避難されていて、避難所もまだ開いているときに、そこは何とかしてあげようって思うのが、これは本当は我々の責務かなって思いますので、今回はいろんな意味で我々も予期してなかったことが起きましたので、準備をしてなかった、できなかった、それから準備不足だったと、これはもう御指摘いただいた、もうそのとおりでございますして、何の言い訳もできないということが今回我々も反省しておりますので、次回があっては困るのですが、備蓄の仕方もあるいろいろ工夫しながらちょっと考えさせてください。何とかまずは地元の方に提供できるような体制をとらなきゃいけないなど。ちょっと説明の仕方が違うだけで気持ちは一緒ですので。

それから、充電なのですが、先ほど■■■■さんがおっしゃったように、役所の方で割と早い時間から物すごい方が殺到したのですよ。それで、我々も勉強になったのが、NTTから充電をするケーブルありますね。あれを借りたのですが、実はNTTが持っているやつが、1つから10台ぐらいとれる充電器があるのですね。これうちでは準備してないです。全くその携帯の充電なんて今まで考えてもいなかったのですが、実は市の庁舎の開放ということで、総務が動いたのですが、NTTの方がそういったものを持ち込んで一気に何10台も充電できたというのが我々経験しています。ただ、一つ条件で出したのは15分で勘弁してくださいって。それだと10%とか15%、本当に1回か2回携帯で電話かける程度だったのですが、それでも少しでも充電させてくださいということで、その後は、例えば防衛省の船、青森の方から来ていただいて船で充電をさせてくれたり、いろんなことで充電に協力していただいたのですが、我々勉強になったのは先ほど言ったように、1つのラインでもって10台とかとれる、充電できるというのがあって、申し訳ない

けれども初めて知りました、私も。それで、次に備えてそういったものを配置しようかって。それは大したお金しないと思うのですが、是非そういったものを、改めて値段の交渉とかいろいろ考えなきゃならないのですが、例えばこういった避難所になるところに1つ置くだけで10台とれるわけですよ。先ほどモリヤさんがおっしゃった発電機。確かに命かかっている方の、例えば肺気腫とかでどうしてもポンペを使わなきゃならない、もちろんそれは優先です。でも、1つのコンセントだけでないので、もしかとれる場合については、そういった器具を使って何とか充電、もちろん親戚の方に連絡しなきゃならないとかってありますね、急なとき。そういったことにも少しでも対応できるようなことを我々今回教訓として考えたいと思っていますので、是非、御理解をください。お願いします。

○司会 よろしいでしょうか。

他に御質問、御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。ちょっと待ってください。そちらの方。

◆市民 有珠の沢町内会の■■■■とありますが、意見という意見ではないのですが、防災ラジオを今使っているのがあるのですけれども、非常に感度は悪いです、1,000円で買ったからいいのですけれども。

それで、今後においては、もうあの防災ラジオは多分デジタル化で使えなくなると思います。それで、その替えるのに何か考えているのか、できましたら、多分、昨年も言ったと思うのですが、防災無線ですね。西港等とかで使っているそのような形、それは相当な費用がかかるのですけれども、そういったもので緊急的な連絡とかいろいろしてくれたらいいなということを、今後において遠い将来に考えているのか、その辺を聞きたいと思います。

それと、防災メール等は相当今よくなって、何かありましたら、地震等においてはすぐ市の方から発信されてくるのですけれども、ただ、年寄りとか子供とかそういった弱者にはなかなか市の言っているようには伝わらないなという疑問はあります。これは、別にどうのこうのせいとは言いませんが、その2点、防災ラジオの件と防災無線等の件の計画等がありましたら、お願いいたします。以上です。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎危機管理室長 危機管理室の梶川でございます。

正に今、防災ラジオと防災行政無線、3年後をめどにどんな形態でいくかということは今検討しているところでございます。一応、デジタルラジオがどのようになるかというのがちょっとまだ情報つかめておりませんので、その検討についてお時間はいただきたいと思います。

あと、防災行政無線なのですが、お金がかかる話なので、財政当局を前にあまり勝手なことは言いづらいのですけれども、今25台ほど西側にあるのですが、できれば防災担当としては全市的に配置したいなと。いろいろと、広報車、今回も回し

たのですけれども、時間がかかるのと、どうしても聞こえづらい、そういうようなこともございますので、ちょっと防災行政無線の充実化を今後図っていきたくないと。すみません、ちょっとまだ案の段階なものですから、具体的なお話できないことを御容赦願いたいと思います。以上でございます。

○司会 よろしいでしょうか。

他に御質問ある方いらっしゃいますか。はい、どうぞ。

◆市民 有珠の沢町の■■■■でした。

もう一つお願いがあるのですけれども、看板を環状線のところと、それから、山の道のあずまやのあるところと、それから坊主山のところと3本立ててもらっているのですけれども、それから海側の方ですね、白鳥たちのいたずらがちょっと多くなっているのですよね。去年、おととしから1羽やられて、ことしは4羽やられているのですよね。なぜこういうことになるのかってちょっと分からないのですけれども、白鳥たちの状態をやっぱり皆さんに分かってもらうために大切な看板だと思っています。1つずつでもいいのでね、環状線のダムの下だね、あっちの方になるかね。車の止めるところにまたお願いしたいと思っています。よろしく願いいたします。

○司会 市の回答をお願いします。

◎都市建設部長 都市建設部でございます。

27年から毎年1基ずつ看板の方を付けさせていただいております。今、御要望のありました箇所につきましても、北海道とまず協議をしなければならないということがございますので、その辺をまずお話をさせていただいた上で、できるだけ設置できるような方向で検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○司会 他に御質問、御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、他にないようなので、これで当日参加者との市政に関する意見交換を終了をさせていただきます。

最後に、終了に当たり、市長から御挨拶を申し上げます。

◎市長 多様な御質問をいただきまして、ありがとうございました。

そうですね、今日、質問あるいは答えを聞いていて何点か思うことがありました。1つは、今年は、このコミセンにアクセスしたらなかなか反応がなかったというのがこれまでありました。市としては、指定管理者制度を導入していますから、指定管理にある程度の運営を任せていますが、だからといって利用実態を知らなくていいということにはならないので、ここはやはり市の段階でも、指定管理だからこそ直営でやっているとき以上に利用実態について把握をしておく。あるいは市で気が付いたことは指定管理者に指示をするという態度、姿勢が市民サービスの深化に

つながっていくことだというふうに思いまして、これから丸投げじゃなくて、丸投げしているときこそ利用実態を市が把握するというような、きめ細かな市民サービスを御指摘いただいたなというふうに思いまして。それについては、こういうコミセンとか、あるいはアイビープラザとかじゃなくても、スポーツ施設もそうですし、市が指定管理という手法で任せているときの市が持つべき情報の確度というものを、それぞれちょっと内部で再検討しなきゃいかんというふうに思いました。

■さんから指摘の件もいくつか。急なことでありましたので、我々マニュアルは持っていますが、マニュアルにそんな細かいことがなくて、例えば避難所に今晚どういう食事を提供してくださいというのは本部から行きますけれども、アルファ米のことを言われたときに、こうだということまで。実は、たまたまその職員が知っていれば別ですけども、なかなかそこまでいかないのですね。そこは今後、段階的になります、検証作業をすることになります。まだ3町支援続けている最中ですので、あるいは11月13日に議会に対して報告をする場もありますけれども、今後、まだ段階的にはなりますけれども、検証作業を通じてその辺のことをチェックしながら次に備えていきたいなというふうに思っています。

最後になります、ふるさと納税のお話をいただきました。苫小牧はプラスです。プラスかマイナスかということであればプラスでありますので、一昨年が500万ぐらいのやつが、去年が1億を超えていて、その前1億近く、8,000万ぐらいで、その前500万だった。なぜ増えたかという、王子ネピアさんのティッシュペーパーです。あれがもう東京の方とか、かさばるものですから、そんなに車で買い物に行く方は少ないので、ティッシュペーパーをなかなかたくさん買えない。苫小牧であれば車で行く方が多いので、やっぱりティッシュペーパーというのはまとめて段ボール箱で行くので、すごい人気あって、約7割が王子さんのティッシュペーパーなのです。それが一昨年そういう反応があったものですから、王子ティッシュさんの製品をもう少し幅広くそろえて今やっている最中で、これ、地元で作っていますから、工場も苫小牧にあるので、非常に私自身もびっくりするぐらいに王子ネピアのティッシュがふるさと納税で頑張ってくれていると。ホッキももう少し頑張ってもらいたいというふうなことを思いながら、それが約1億超えていますけれども、約7割がそういったティッシュ関係の王子ネピアさんの商品になっているということは知っておいていただきたいと思います。

最後までお付き合いいただきましたことを重ねて御礼を申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを終了させていただきます。本日はありがとうございました。